

国立大学法人 豊橋技術科学大学「社会人向け実践教育プログラム」

文部科学省 職業実践力育成プログラム (BP) 認定

2022年度 豊橋市 補助事業

「東海地域の6次産業化推進人材育成」 2022年度第11期生募集要項

豊橋技術科学大学は、愛知県、豊橋市、田原市などの地域自治体や地元企業と連携して、豊橋技術科学大学「社会人向け実践教育プログラム」、豊橋市次世代「農力」UPアカデミー事業において「東海地域の6次産業化推進人材育成」事業を実施しています。

この事業は、2014～2015年度に農林水産省が開発した農山漁村地域ビジネス創出人材育成プログラムをベースにしたカリキュラムとしており、農業従事者や農業分野へ新規参入を検討している企業関係者等が、農商工のスキルを融合して6次産業化関連ビジネスなどの「あるべき姿」を設計し、その実施に向けての意思決定ができるような人材の育成を目的として実施しています。

そこで、2022年度「東海地域の6次産業化推進人材育成」プログラムの受講生を以下の要領で募集します。

1 募集人員：15名

2 受講期間：2022年9月～2023年1月

3 受講場所：国立大学法人豊橋技術科学大学キャンパスほか

新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン講義の場合もあり

4 人材育成内容

本事業は、教室講義 63.5 時間、e-ラーニング 20.5 時間（農林水産省で公開している早稲田アカデミックソリューション配信の教材を含む）、先進事例調査研修 19 時間を組み合わせたカリキュラムとし、教室講義では、各自のビジネスプランを作成・発表していただくことにより、実践的なスキルが身につく内容となっています。また、各講義における成績評価のための課題レポートの提出とビジネスプラン作成及び発表会での報告が義務付けられており、履修・修得した人に豊橋技術科学大学から『6次産業先導士』の称号が授与され、履修証明書が交付されます。

なお、本プログラムの修了生は内閣府の国家戦略プロフェッショナル検定である「食の6次産業化プロデューサー（愛称：食 Pro.）」のキャリア段位レベル3（育成プログラムでは最高位）の申請をすることが可能です。育成プログラムにはレベル1、レベル2（事業主・法人スタッフコース）、レベル2（支援スタッフコース）、レベル3（事業主・法人スタッフコース）、レベル3（支援スタッフコース）があり、本学は全5コースの認証を受けています。

5 受講資格

- (1) 高等学校卒業程度の学力を有する者
(本学において、同等以上の学力があると認めたとを含む。)
- (2) 心身ともに健康で、農林水産業の6次産業化に強い関心を持つ者
- (3) パソコン等を所有し、使いこなすことができ、自宅でインターネットへの接続ができる者

6 授業時数 103 時間

- (1) 教室講義 19 科目 63.5 時間
- (2) e-ラーニング 6 科目 20.5 時間
- (3) 先進事例調査研修 3 回 (主として東海地域) 19 時間

7 受講料

- (1) 受講料 8万円

ただし、下記に掲げる者は、それぞれ各項目に定める額とします。

- A) 豊橋市又は田原市在住・在勤者・・・3万円
- B) 先端農業・バイオリサーチセンター実施の社会人向け人材育成事業のサポート企業 (*1) からの推薦者・・・3万円
- C) 農林水産業従事者及びJA又は農業経営を行う法人に所属する者、新たに農業経営を始めようとする者 (*2)・・・5万円

その他、先端施設研修時の昼食等、別途実費負担いただくことがあります。

(*1) サポート企業は以下のとおりです。

- ・ (株)サーラコーポレーション
- ・ (株)大仙
- ・ 豊橋信用金庫

(*2) 認定新規就農者として自治体から認定を受けている者、農業者等で新規就農のための研修を受けている者等

- (2) 納入期日

受講料は、講義開始前日までの、本大学が指定する期間内にお振り込みください (振込手数料は、受講者の負担となります)。

- (3) 受講料の返還

納入していただいた受講料につきましては、原則返還いたしません。

- (4) 教育訓練給付金について

この講座は、厚生労働省指定の「特定一般教育訓練給付金」制度に該当します。これを利用される場合は、講義開始日の1か月前までにハローワークに申請が必要です。(詳しくは、豊橋技術科学大学 研究支援課センター支援係 電話0532 (44) 6574、またはお住まいの地域のハローワークまでお問合せください) また、下記のWEBページもご参照ください。

https://www.hellowork.mhlw.go.jp/insurance/insurance_education.html

8 応募書類

応募書類は、本事業URLから取得し、豊橋技術科学大学先端農業・バイオリサーチセンター内6次産業化推進人材育成担当者宛に提出してください。

- (1) 様式1「志願書」
 - (2) 様式2「履歴書」
 - (3) 様式3「志望動機」【1,000字程度】
 - (4) 様式4「小論文」【1,000字程度】
 - (5) 大項目7 受講料のただし書きに該当する場合は、それを明らかにできる書面
 - A) 運転免許証など住所が確認できる身分証の写し（豊橋・田原在住者）や健康保険証・社員証など在職を確認できるもの（豊橋・田原在勤者）の写し
 - B) サポート企業の推薦状（別紙様式参照）
 - C) 農地台帳・組合員証・健康保険証・社員証などの写し、研修先の推薦状など
- ※提出された応募書類は返却しません。
※(5)の書面を提出いただけない場合、受講料は8万円となります。

9 出願期間：2022年4月28日（木）～6月10日（金）当日消印有効

10 選考方法：書類審査により選考を行い、場合により面接を行うことがあります。
※選考結果は、合否にかかわらず7月19日（火）までに書面でお知らせします。

11 応募書類の作成要領

応募書類は、志願書、履歴書、志望動機および小論文が必要です。以下の各項を参照の上パソコンで作成してください。

- (1) 志願書（様式1）
 - ・様式1に記載されている全ての欄に記入の上、氏名欄は必ず自署をお願いいたします。
- (2) 履歴書（様式2）
 - ・写真欄には、上半身・無帽・正面向き・背景無地のもので志願前6か月以内に撮影した写真（縦4cm×横3cm）を貼付してください。
- (3) 志望動機（様式3）
 - ・本プログラムを受講するにあたり、志願者本人の志望動機をA4判1枚（1,000字程度、文字サイズ12pt、明朝体）で作成してください。
- (4) 小論文（様式4）
 - ・『6次産業化及び食農産業に関する考え方』というテーマで小論文をA4判1枚（1,000字程度、文字サイズ12pt、明朝体）で作成してください。

12 応募書類の提出・問い合わせ先

応募書類は封筒に入れ、『東海地域の6次産業化推進人材育成受講希望』と朱書し、下記の提出先に簡易書留で郵送してください。

提出先・問い合わせ先：〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
国立大学法人豊橋技術科学大学先端農業・バイオリサーチセンター
東海地域の6次産業化推進人材育成担当者
電話：0532（44）6655, E-mail：6jisangyo@recab.tut.ac.jp

- ・ 詳細はWEBページ（<http://www.recab.tut.ac.jp/>）に記載しています。
- ・ 応募書類の書式は、<http://www.recab.tut.ac.jp/contents/6sangyo/entry.html>よりダウンロードしてお使いください。

※個人情報の取扱いについて

志願時にお知らせいただいた氏名・住所等の個人情報については、本事業の実施に必要な範囲にのみ利用し、他の目的には使用いたしません。

（注意）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日程、講義方法の変更や、場合によってはプログラムを中止することがあります。